

教材開発のストラテジー

企業が担う教育の質と未来

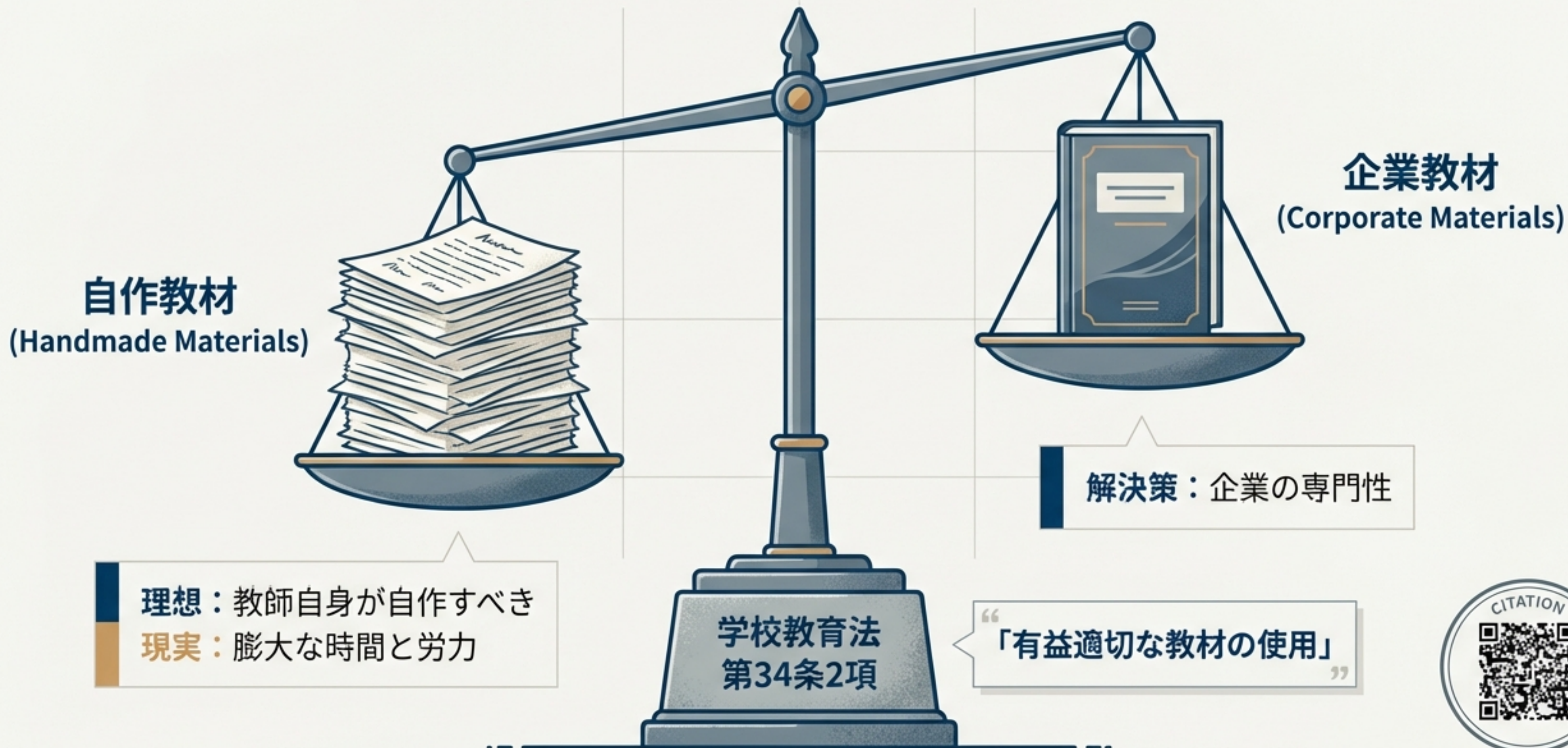
- ☑ 【学習到達目標】
- ☑ 1. 企業の視点
- ☑ 2. 具体的な工夫
- ☑ 3. 開発ストラテジー

第6講

Noto Serif JP Regular

水谷泰三（株式会社 文溪堂）

教師の理想と現実、そして法的根拠



品質を保証するインストラクショナルデザイン



社会的使命：国内の学力を底上げ及び平準化

教育ツールの分類法

図書教材 (Book Materials)

- テスト
- ドリル
- プリント
- ワーク
- 副読本



▲
Focus of Strategy

教材・教具 (Tools & Aids)

- 裁縫セット
- 画材セット
- 書道セット
- 算数用具



推進団体：一般社団法人 日本図書教材協会（日図協）

図書教材の3つの柱

習得教材 (Acquisition)



興味・関心の喚起と深化

例：資料集、ワーク

習熟教材 (Proficiency)



反復学習による定着

例：漢字ドリル、計算ドリル

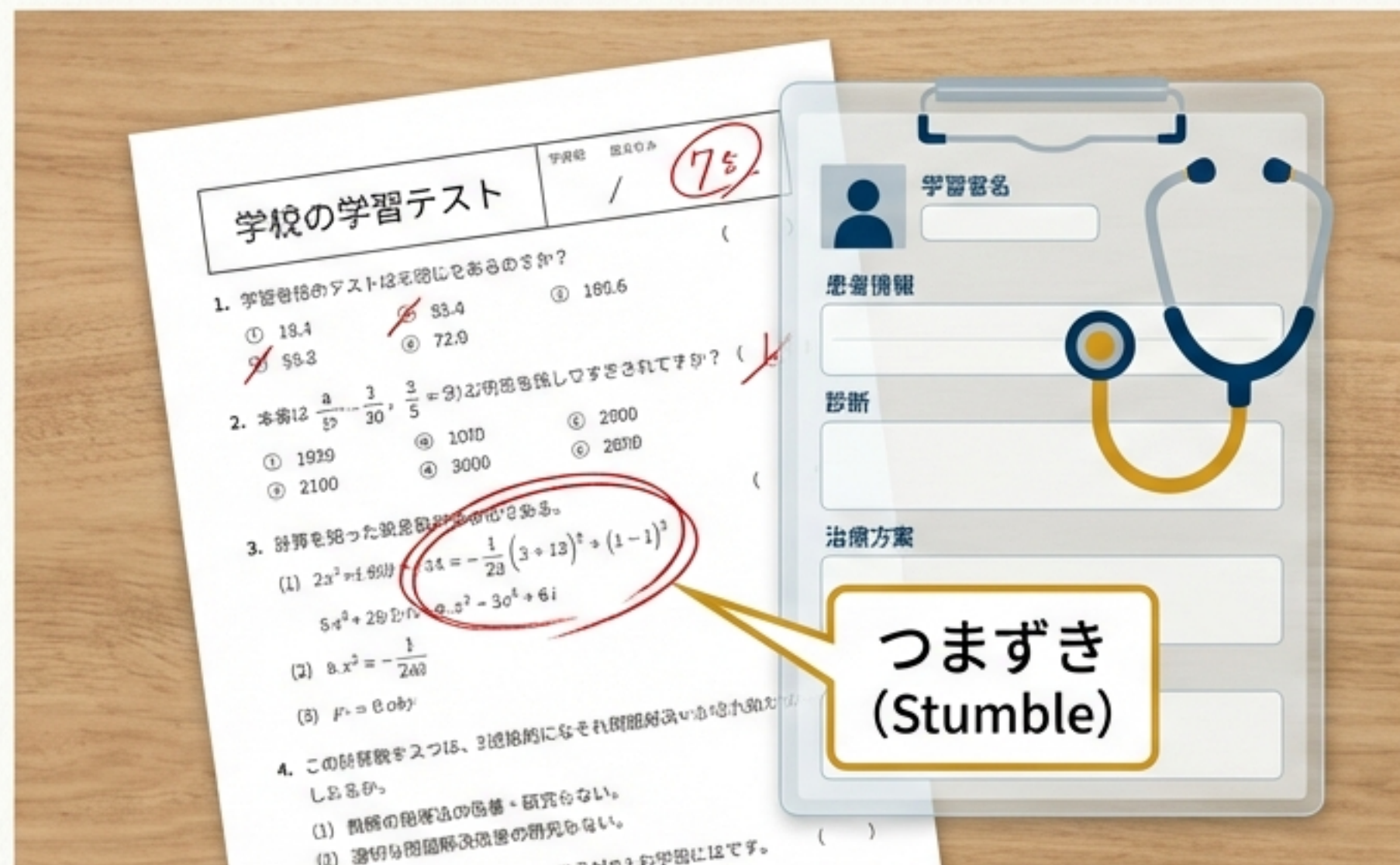
評価教材 (Evaluation)



定着確認と診断

例：テスト、プリント

テストは学習の「診断カルテ」である



✓ 定着状況の確認



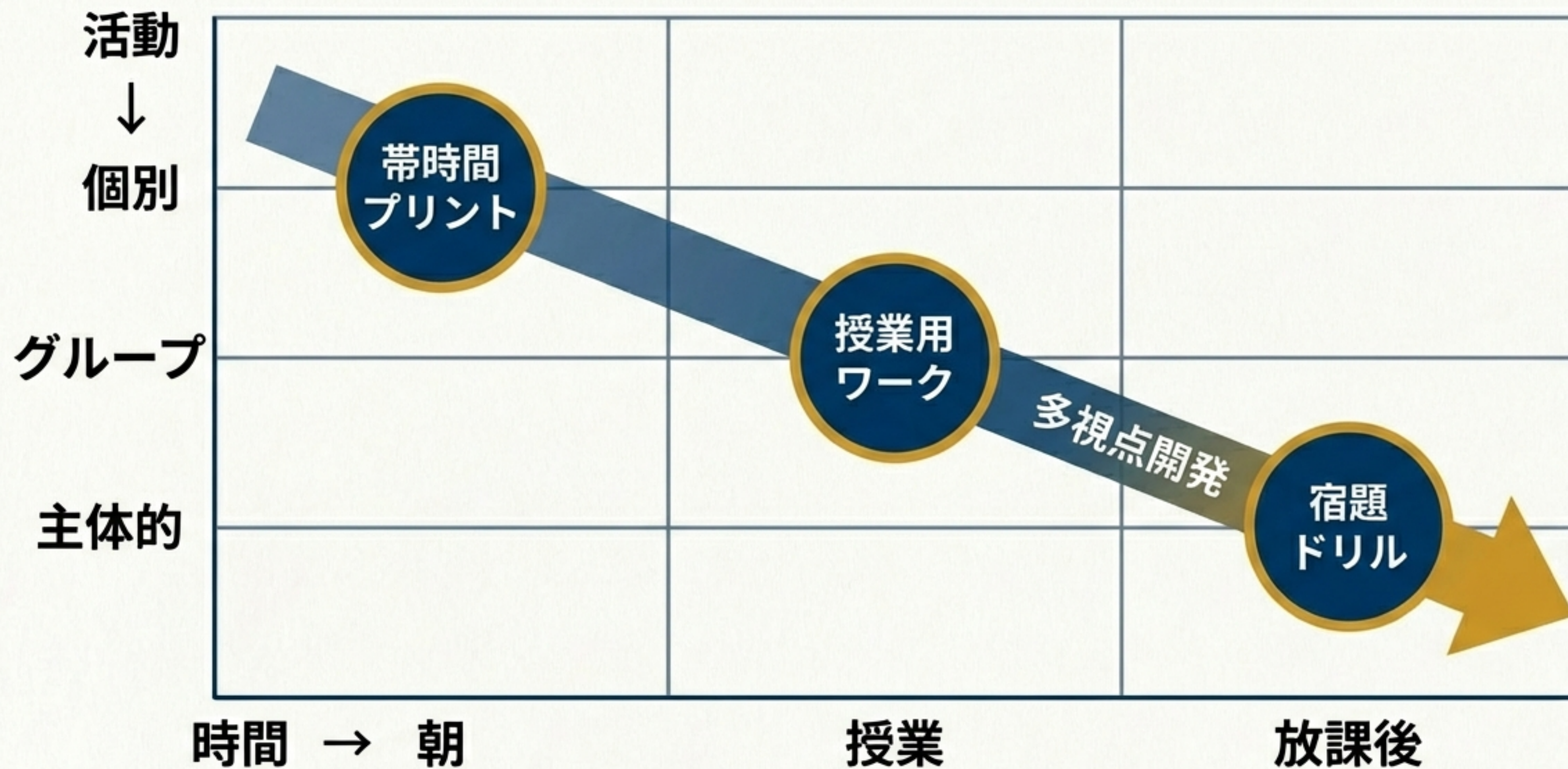
🔍 つまずきの発見 (診断)



⚙️ 適切な問題解決 (治療)

効果：教師の指導法の改善・研究

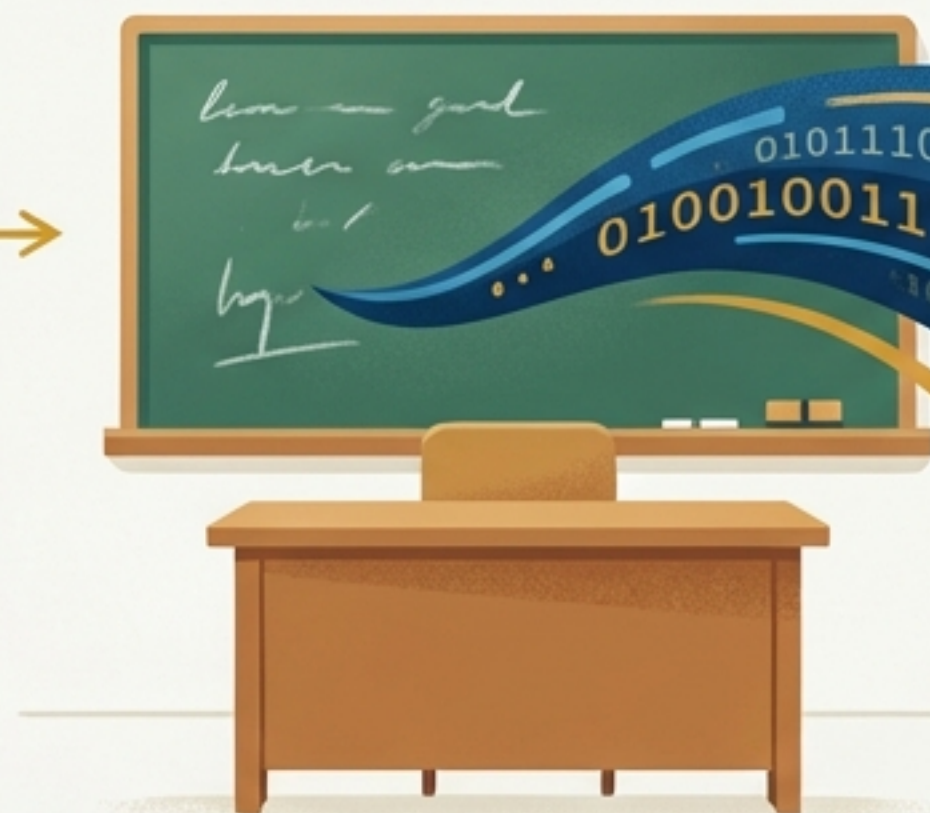
あらゆる学習場面への対応



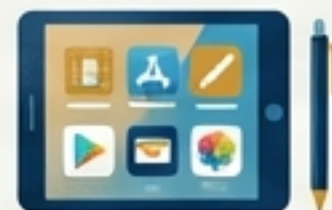
転換点：教育の情報化ビジョン

2011年4月

文部科学省「教育の情報化ビジョン」公表



電子黒板



タブレットPC



デジタル教科書

このビジョンは、教育における情報通信技術（ICT）の活用を推進する重要な転換点となった。従来の学習環境にデジタルツールを融合させることで、個別最適化された学びや協働的な学習の実現を目指している。

文溪堂の戦略：アナログ × デジタルの融合



既存教材



ICT



支援・補完
(Support & Augmentation)

Case Study



てんまる

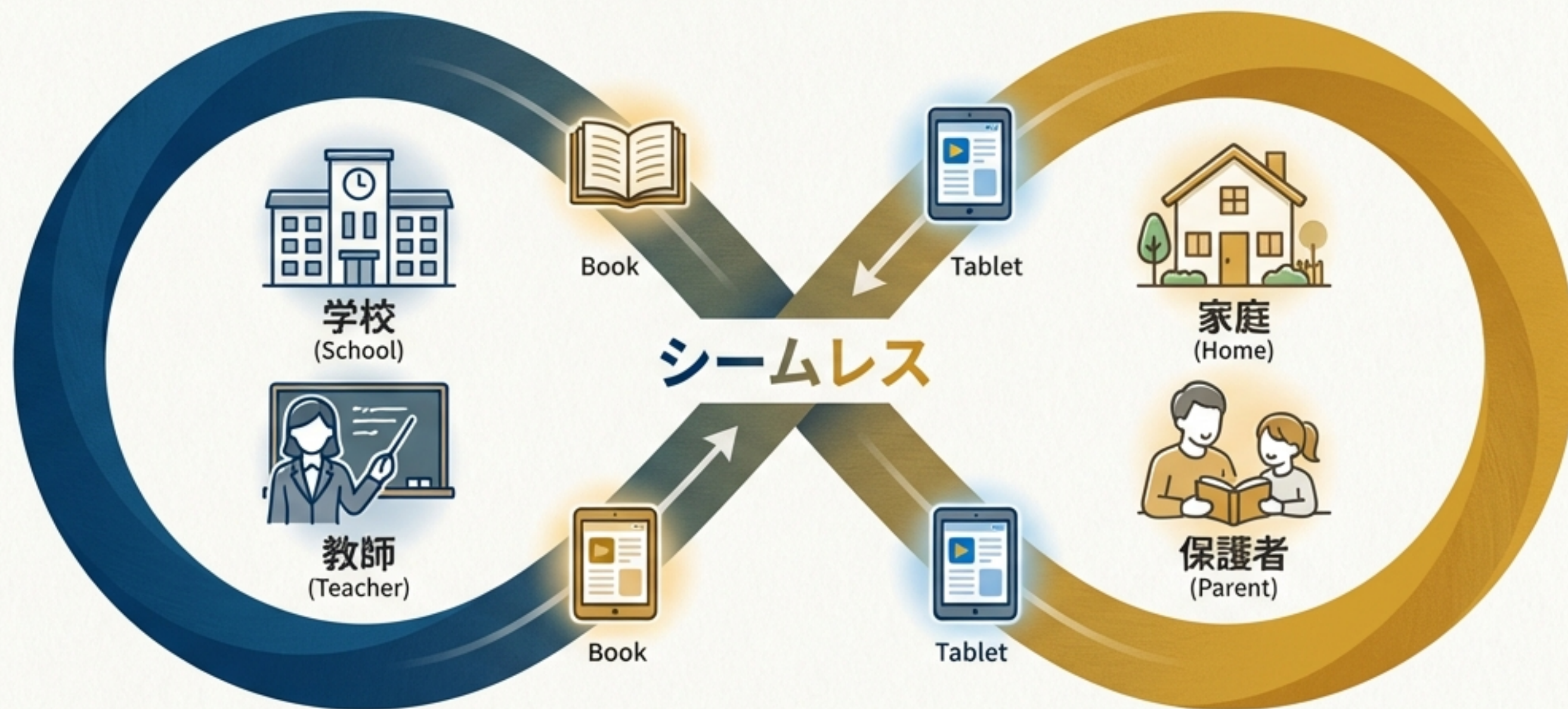


漢字計算ROM



かざしてジャンプ

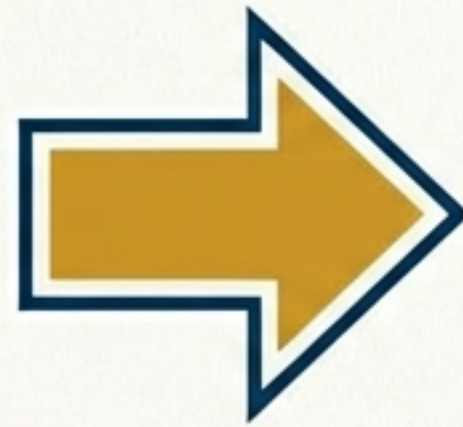
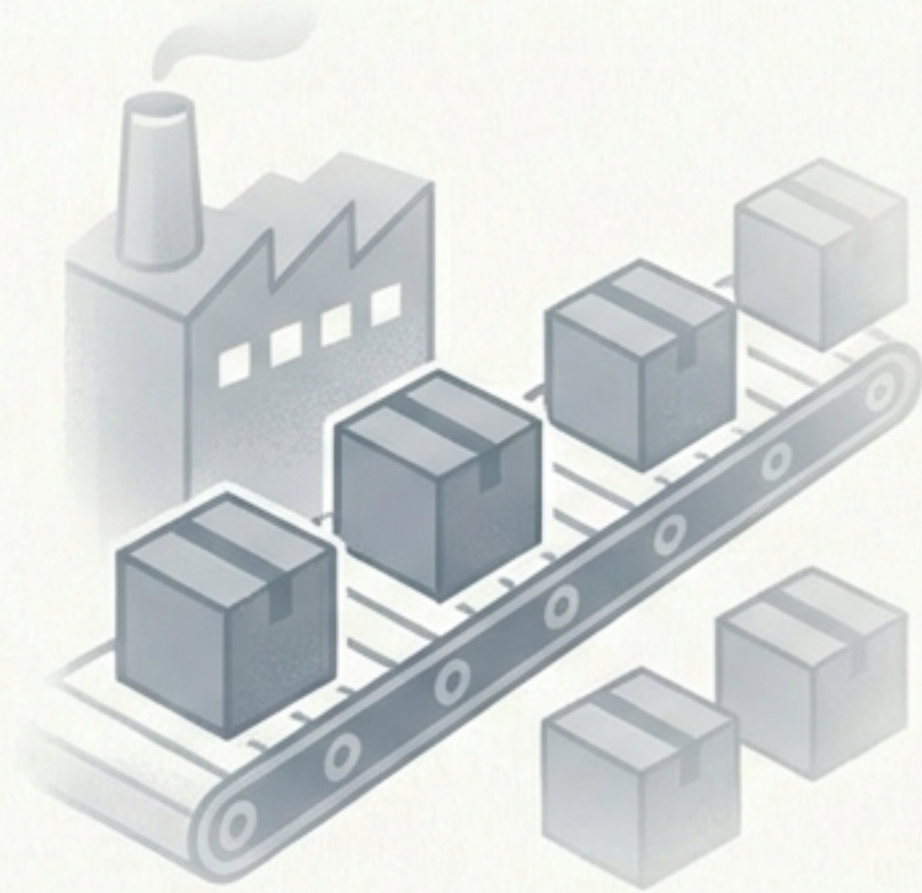
シームレスな連携：学校と家庭をつなぐ



実物教材（アナログ）+ ICT（デジタル）

Noto Serif JP Regular

モノからソリューションへ



画一・均質的なモノ (Uniform Goods)

Noto Serif JP Regular

コンサルティング&ソリューション

Noto Serif JP Regular

多様化（ダイバーシティ）する学校現場の要望に応える「牽引車」としての役割

Noto Serif JP Regular

まとめ：教材開発の進化



次世代の教材を考える

- 紙（アナログ）とICT（デジタル）の新しい組み合わせとは？
- 一斉・協働・個別学習におけるデジタルの最適解は？
- なぜ問題形式によって正答率が変わるのか？